

「2015 文化で滋賀を元気に！賞」受賞者について

文化・経済フォーラム滋賀では、文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人に対して、感謝と今後の活動を期待して、2011 年から「文化で滋賀を元気に！賞」を設け、表彰しています。

5回目となる「2015 文化で滋賀を元気に！賞」には、県下各地の地域を元気にする活動をされている団体・個人から、22 件の推薦応募をいただきました。

選考委員会による慎重審査の結果、大賞をはじめ6件(6団体)が受賞されました。

(講評執筆：「2015 文化で滋賀を元気に！賞」選考委員会)

【表彰概要】

■表彰の種類

(1) 文化で滋賀を元気に！各賞

文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人(若干名)

(2) 文化で滋賀を元気に！大賞

(1)の受賞候補者のうち最も評価された団体または個人(1名)

(3) 各賞の名称は、推薦者からの提案に基づき決定

■表彰式

平成 28 年 2 月 11 日(木・祝)15:10～ 大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」

※受賞者には表彰状と彫刻家(成安造形大学名誉教授)富樫実氏の制作によるトロフィーを贈呈します。

■募集期間

平成 27 年 7 月 22 日(水)～平成 27 年 10 月 31 日(土)

■候補者の推薦

募集期間内に推薦書を文化・経済フォーラム滋賀事務局に提出。自薦、他薦は問わない。

■選考

12 月 10 日(木) 6名の委員からなる選考委員会で審査を行い、大賞・各賞を決定。

選考委員	なかむら 中村 順一 (行政経験者)	あきむら 秋村 洋 ((株)プラネットリビング代表取締役)
	はらだ 原田 みつき (公財)平和堂財団顧問)	みなみ 南 千勢子 (ピアニスト)
	やまなか 山中 たかし (公財)びわ湖ホール理事長)	あいば たかこ 饗場 貴子 (元・大津青年会議所理事長)

大 賞 (青春メッセージ文化賞)



第8回ラッピング電車



車内ようす

石坂線21駅の顔づくりグループ 電車と青春21文字プロジェクト / 大津市

滋賀県大津市を走る京阪電車石坂本線。琵琶湖畔の全長 14.1km を走る“石坂線”にちなみ、毎年テーマを変え、全国から「電車と青春にまつわるメッセージ」を公募するイベント。最終審査員に歌人の俵万智さんを迎え、優秀作品は石坂線の車両ボディに掲載する。2013年NHKドラマの題材にも取り上げられ、今年で10回目の開催。中心となる「石坂線21駅の顔づくりグループ」は、市民の生活に密着した公共交通がもつ力を活用し、文化の発信や地域・世代間の交流を図り、沿線の活性化、まちづくりへの関心をよび起こす取り組みをしており、当イベントも地道な活動が続け、点から線へ線から面へと広がり、多くの支援者によって全国へ発信できる事業として成長された点は大いに評価される。

<代表: 福井美知子>

問合せ 事務局 (電話 080-2444-3359)

プロフィール

2003 年 活動開始 駅の顔づくり(看板設置)など

2005 年 「14.1km 日本で一番細長い美術館

～石坂線文化祭～」開催

2006 年 「電車と青春+初恋 21文字のメッセージ」

募集開始(～現在)

2007 年 『電車と青春』出版(～現在)

2008 年 市民メディア紙「石坂線かわら版 21駅

タイムス」発行

※現「大津いはいんタイムス」(～現在)

★「電車と青春21文字プロジェクト」: 今年のテーマは、電車にまつわる「～初恋・これから～」。4600を超える応募があり、ラッピング電車は1月23日(土)～2月14日(日)まで走行する。



我が町描き続けて文化賞

八美会（はちびかい） / 近江八幡市

絵の好きな同好の士が近江八幡を中心に県内各地からつどい、“みつける、つくる、よろこびをもつ”を旨に、月2回の例会等の活動を行う。1970年にグループを結成し45年。グループ展は2016年に100回を迎える。富士宮市や韓国密陽市との交流展や水郷を描く絵画コンクールの実施、近江八幡市立総合医療センターでの作品展示など、長年、地域の美術文化の振興を支え続けた活動が評価される。

<代表：鶴房健蔵>

問合せ 事務局（肥後）（電話 0748-37-7848 ）



町衆歌舞伎文化賞

長濱ゆう歌舞伎座 / 長浜市

1997年から「素人が本格的な歌舞伎に挑戦しよう」を合言葉に、役者やスタッフを一般募集し、子どもから大人まで、男女の別なく、年1回の手作り公演を実施し、地域の活性化やコミュニティの再生につなげている。商店街や長浜曳山まつりに関わる「三役修行塾」の協力のもと、長年、地域の文化や伝統を学び、地域がつながる機会として、市民参加による取り組みは評価される。

<代表：渡辺利博>

問合せ 事務局（電話 0749-62-3772 ）



親子劇場文化賞

大津おやこ劇場 / 大津市

おやこ劇場は、子ども達に感動を届ける舞台芸術の鑑賞と仲間づくりの場として設立された全国組織で、県内では7か所が活動。大津おやこ劇場が1975年設立と最も古い。設立以来、演劇、音楽、古典芸能などの鑑賞活動およびキャンプ等の自主活動を継続。子ども達の自主性を育み、親子共に成長する場として、本県の芸術振興の一端を担い、子育ての応援団となる取り組みは評価される。

<運営委員長：嶋田恭子>

問合せ 事務局（電話 077-525-4578）



伊吹まちおこし文化賞

伊吹山文化資料館友の会 / 米原市

1998年、伊吹山文化資料館の開館に先立ち、「資料館づくり友の会」として発足し、展示作業から活動を開始。今日まで、来館者への対応、資料の収集・調査、展示解説、定期清掃活動など資料館活動全般に関わっている。体験教室等の講師として、地域の子どもの受け入れも積極的に行い、地域文化を保存し、次世代へ伝承する、地域資源を活かした、地域のための活動は評価される。

<会長：藤田慶一>

問合せ 伊吹山文化資料館（電話 0749-58-0252 ）



映画で地域活性化文化賞

彦根を映画で盛り上げる会 / 彦根市

彦根オールロケの映画が世界で配信されることを夢見て、ロケ隊の食事や宿泊、エキストラの手配、認可手続きをサポートし、映画づくりに参加、市民や企業、行政とのコーディネーター的な活動を行っている。映画を通じて自分の住む街を再認識し、歴史・文化建造物や交通アクセスの良さをアピールする取り組みは、地域の団結の場となるだけでなく、経済効果も期待でき、評価される。

<会長：目加田宗彦>

問合せ 事務局（電話 090-1076-2295 ）